

* * 新型コロナウイルス感染症予防接種 * *

～予防接種の有効性や副反応について～

新型コロナウイルス感染症の予防接種を受ける前に、この説明書をお読みいただき、予防接種の有効性や副反応について、よく理解した上で接種を受けるようにしましょう。

新型コロナウイルス感染症とは

コロナウイルスに感染することで起こる感染症です。

○ どうして感染するの？

感染者の口や鼻から、咳、くしゃみ、会話等のときに排出されるウイルスを含む飛沫、又はエアロゾルと呼ばれる更に小さな状態の粒子を吸入するか、目、鼻、口に直接的に接触することにより感染します。物や指についたウイルスが目、鼻、口に接触することで感染することもあります。

○ 新型コロナウイルス感染症の症状は？

発熱、咳、鼻水、咽頭痛、倦怠感、頭痛、関節痛、筋肉痛、嗅覚・味覚異常、下痢

○ 新型コロナウイルス感染症の特徴は？

・咳などの呼吸器症状が中心で、多くは軽症だが一部重症化することもあります。
・初期は一般的なウイルス性咽頭炎（いわゆる風邪）やインフルエンザとの区別が困難な症状（発熱や咳など）だが、改善なく持続悪化する場合は注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症の予防について

感染を予防のためには・・・

- ① 換気をする
- ② 3密（密接場面、密集場所、密閉空間）を回避する
- ③ 状況に応じてマスクを着用する
- ④ 石けんを使った手洗い、アルコール製剤を使った手指消毒をする
- ⑤ 空気の乾燥を防ぐため、室内では加湿器などを使って加湿する

新型コロナウイルス感染症予防接種の有効性

発症予防や重症化（入院）予防の効果があることが国内外の複数の報告で確認されています。なお、既感染者であっても再感染する可能性はあり、また、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。さらに、いずれの年齢群においても、重症化（入院）予防効果は発症予防より高いことが確認されています。

新型コロナウイルス感染症予防接種を受ける前に

○ 予防接種についての注意

予診票は、医師が予防接種できるかどうかを判断するために大切なものなので、接種を受ける人が責任をもって記入しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師によく相談して、十分に納得したうえで接種を受けるようにしてください。

予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱のある方（一般的には体温が37.5℃を超える場合）
 - ② 重篤な急性疾患にかかっている方
 - ③ ワクチンの成分に対し、アナフィラキシー（※1）など重度の過敏症（※2）の既往歴のある方
- （※1）アナフィラキシー
通常、接種後約30分以内に起こる、ひどいアレルギー反応のことです。
症状 … 発汗、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどのショック状態になるような激しい全身反応
- （※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。
- ④ 上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある方

予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ① 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ② 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ③ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ④ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方
- ⑥ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある方（筋肉注射の場合）

接種後の注意

- ① ワクチン接種後24時間は有害事象※（健康状態の変化）の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に接種直後の30分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
※薬物との因果関係がはっきりしないものを含め、薬物を投与された患者に生じたあらゆる好ましくない、あるいは意図しない徴候、症状、または病気のこと
- ② 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けるよう注意してください。
- ③ 接種後、接種局所の異常反応や体調の変化がある場合、速やかに医師の診察を受けてください。
- ④ 被接種者の介護にあたる者等は、③の場合において、被接種者が医師の診察を受けたときは、速やかに当課へ連絡してください。
- ⑤ 予防接種当日の入浴は差し支えありません。

新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応

予防接種した部位が赤みを帯びたり、腫れや痛みが出たりすることがあります。また、熱が出たり、寒気、頭痛、全身のだるさなどがみられることもあります。いずれも通常2～3日のうちに治ります。

極めてまれに、アナフィラキシーがあらわれることがあります。

そのほか、頻度としてはごく稀ですが、心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。

予防接種健康被害救済制度について

万一、接種による健康被害が発生した場合には、その健康被害と新型コロナウイルス感染症予防接種との間に関係があると認定されると「健康被害救済制度」の対象となります。

その他

- 認知症などで明確な意思の確認が困難な場合には、家族によって特に慎重に本人の接種意思の有無を確認し、接種適応を決定する必要があります。最終的に意思確認ができない場合には、予防接種法に基づく接種はできません。
- 本人の自署が難しい場合は、ご家族、施設職員、医療機関の方など、本人の意思を確認できる方が代筆し、代筆者の名前、被接種者との関係性を併せてご記入ください。

【お問い合わせ】 所沢市保健センター健康管理課
予防接種担当
TEL 04-2991-1811